

大湊湾

E

F

G

H



陸奥湾

港町

松原町

今から三百六十年余り前、徳川家光が將軍の頃、南部藩二十八代藩主重直公は田名部通りを巡視に来ていた。或夏の夜、人々は盆踊りに興じ、賑わっていた。その中で一際目を引く「おしま」という名の娘が音頭をとっていた。声は澄みわたる、美しい容姿は小野小町をしのぐほどで、重直公は至極ご満足し、褒美を与えた。

この後、田名部横町の川の水飲めば八十婆様も若くなる…の歌を「おしまこ 踊りを、おしまこ踊り」と呼ぶようになったとか。



おしまこ  
おしまと申します。

1

2

3